

【佐世保若者サポートステーション】

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況【第二ステージ】

取組年度	令和6年度	
支援対象者	(2) 長期にわたり無業の状態にある方	
目標	第一ステージの結果を踏まえて、就業を希望しながら様々な事情により長期にわたり無業の状態にある方については、本人や家族の希望に応じた職場体験等を実施することにより、職業的自立支援につなげることを目標とする	
	KPI項目	目標値
第二ステージ	サポステ等による職場体験等先の確保数	30件
	職場体験等の実施件数	16件
	サポステとハローワークとの連携体制の強化 (意見交換等の実施回数)	各年度4回 (HW佐世保と各年度2回)

【令和6年度取組状況等】

令和6年度の佐世保サポステでは、これまでに引き続きハローワークとの連携を強化してきました。就職氷河期世代のうち長く無業者の方々それぞれに合わせた支援を図っていくよう考えています。最近ではハローワーク江迎でのサポステの巡回相談で積極的な情報共有を行うことにより、困難ケースにおいても段階的な支援体制を整備しています。また、西海市社会福祉協議会との連携ケースでは、社会資源のさらなる必要性が課題であった西海市においてもサポステが社会資源の一つとして活用されることが今後は見込まれます。

そして壱岐対馬の在駐スタッフとのケース会議をオンラインで実施し、困難ケースの共有を積極的に行っています。壱岐対馬においては在駐スタッフが一人体制のため、一人でケースを抱え込むのではなく、佐世保サポステとのスタッフと共有し様々な意見交換ができる機会を確保しています。

職場体験については、サポステのネットワークを活用するだけでなく職場体験希望者の意向に沿った職場を開拓するよう取り組んでいます。

今年度になって氷河期世代登録者は増加傾向にあります。特に行政や医療からのリファアが増加しており、それに伴い多角的視点での支援アプローチの重要性を感じています。支援の質向上のため、外部研修の参加やスタッフ研修を取り入れています。

KPI項目	実績累計	進捗率
サポステ等による職場体験等先の確保数	117件	390.0%
職場体験等の実施件数	100件	625.0%
サポステとハローワークとの連携体制の強化 (意見交換等の実施回数)	6回	150.0%

※令和5年度分+令和6年11月末時点の実績
(職場体験関係実績は長崎サポステとの合算)